

第77回国立病院総合医学会が2023年10月20日(金)、21日(土)にリーガロイヤルホテル広島にて開催されました。今回の大会テーマは「未来に向かって～日本の医療を支える国立病院機構～」。

多彩な講演やシンポジウムが行われた中、若手医師を対象とした「若手医師フォーラム」が開催され、各自が取り組んできた症例や研究について発表する貴重な機会となりました。今回、多数の応募の中から口演発表で最優秀賞に輝いたお二人の先生に話を伺いました。なお、最優秀賞の先生には副賞として国際学会への参加費用が補助されます。



口演発表「症例報告部門」最優秀賞 × Dr. Ai Higuchi

RUNX1::RUNX1T1 acute myeloid leukemia cytogenetically showing t(6;8)(p23;q22).

埼玉病院 初期臨床研修医 樋口 藍

[指導医] 血液・膠原病内科部長 入山 規良

応募のきっかけは？

研修先の先生から勧められ、英語での学会発表は経験がなく、少し躊躇いもありましたが挑戦できるのは良い機会になると思い応募しました。

口演のテーマとポイントは？

均衡型三方向染色体転座 t(6;21;8)(p25;q22;q22)を有する RUNX1::RUNX1T1 急性骨髄性白血病を報告させていただきました。この症例は私が血液内科ローテ

ト中に診させていただいた患者さんでした。染色体検査(G分染法)と融合遺伝子(PCR法)の結果に乖離を認めため、FISH法を用いて詳細な転座パターンを探し、稀有な均衡型三方向転座を特定しました。急性骨髄性白血病の正確な病型診断には多面的な検査が不可欠であることを示した症例であったため、発表しました。

特に苦労したことは？

英語での質疑応答対策です。質

疑応答はその場での対応力も求められるため、指導医や同僚と質疑応答の練習を重ね本番を迎えました。

発表を振り返って、感想は？

想定していない質問を受け、戸惑いもありましたが自分の答えられることを自分の言葉で伝えようという意識でお答えしました。

参加を考える方へメッセージを

英語での発表やコンペ形式で最初は躊躇してしまう方もいるかと

思いますが、いざ挑戦してみるととても貴重な良い経験となりました。少しでも興味のある方は是非チャレンジしてみてください。

将来の夢、今後の予定は？

私の理想の医師像は患者さんとそのご家族の気持ちに寄り添い、患者さんの安心できる医師です。患者さんとの対話を大切にしながら、患者さんにとって最善の医療を追求するべく、研究にも携わっていきたくと考えています。



口演発表「臨床研究部門」最優秀賞 × Dr. Atsuko Tsujii

Parsing pathology of rheumatoid vasculitis via single-cell spatial transcriptome analysis

大阪南医療センター リウマチ・膠原病科 辻井 敦子

[指導医] リウマチ・膠原病科 部長 大島至郎 / 免疫異常疾患研究室長 高松 漂太 / 病理診断科 医長 星田 義彦

応募のきっかけは？

部長の大島先生に、是非いい機会になるからと発表を勧めていただきました。

口演のテーマとポイントは？

シングルセル空間トランスクリプトーム解析を用いて、皮膚の血管炎の病態解析を目標としました。病態を理解する上で、どのような細胞が病態を引き起こしているかを考えることは重要だと思います。当研究では、病理組織をもちいて空

間トランスクリプトーム解析を行うことで、疾患特異的な細胞がそれぞれの場所でどのような役割を果たすかを明らかにしたいと考えました。最新のシングルセル空間トランスクリプトーム解析のプラットフォームであるNanostring社のCosmxをもちいて、解析を行いました。

特に苦労したことは？

7分という制限時間内に研究内容をわかりやすく発表すること、

がとても大変でした。様々な分野の先生が聞きに来られるため、臨床において困っていることや治療内容なども含めわかりやすく内容を伝えることに注力しました。

発表を振り返って、感想は？

質疑応答は緊張しましたが、自分の伝えたかったことを何とか答えました。

他の発表者のプレゼンの感想は？

同世代の先生方ががんばってい

るのをみて、非常に刺激を受けました。発音の仕方、スライドの作り方、臨床研究の着眼点など、それぞれの発表から、たくさんのお話を学ばせていただきました。

将来の夢、今後の予定は？

常に、患者さんの立場に立つことを忘れずに、臨床のデータや検体を用いた研究をしていきたいです。厳しい世界だと思いますが、未来の治療に役立てるような研究を行いたいです。



BACK NUMBER × バックナンバー

過去の「NHO NEW WAVE」がWEBサイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索



NHO

facebook &



本部公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/nho.headoffice>



https://twitter.com/nho_headoffice



本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！